



■プログラム修了生のメッセージ



グリーンアジア国際戦略プログラム
 第3期修了生
高橋 良亮

グリーンアジアプログラムを終了して

早いもので、私がこのGAプログラムに参加して約4年半もの歳月がたちました。本プログラムを通して様々な経験をすることができたことを今でも覚えております。まず、このプログラムを修了し何より自分自身が成長したと感じている点は英語力の向上です。入コース以前は、英語による会話などほとんどままならなかった私ですが、日々コースの留学

生との交流を通し、英語を話すことに対する「壁」が取り払われ、自然と英語でコミュニケーションがとれるようになりました。また、英会話能力だけでなくプログラムの英語授業では、博士では必須とされる英語で論文を書く能力を向上させることができました。必須であるにもかかわらず、なかなか人から教わって学ぶことがない本項目ですが、プログラムの授業に取り入れられていることで、論文執筆や博士論文の作成に大いに役立ちました。英語能力の他にも、授業の内容を完璧に理解した、といえは嘘にはなりませんが、本来学ぶ自分では学ぶ機会も無かったであろう、経済学や哲学等の文系の授業を学ぶことができ、将来に向けて、また今後の研究を進める上で自分の視野を広げることができたと感じております。このようにGAプログラムは、研究と両立していく上で確かに大変な面も多々ありますが、目の前の自分の研究に向け、そして自分の将来設計に向け、即座に役立つことや一見すると役に立ちそうもないが時間経て私たちの血肉となるもの、そういった内容がバランス良く散りばめられている大変有意義なプログラムだと考えております。後輩の皆さんは、節目節目で忙しい時期がやってきて、プログラムが嫌になることもあるかと思いますが、うまく乗り越え自らの力としてください。きっと将来の役に立つはずですよ。また、本プログラムの大きな特徴でもある月々の経済支援ですが、プログラムを運営される方々には是非、安定した経済支援を引き続き学生へとお願ひできたらと思います。私が約4年半間、研究やプログラムの授業に集中できたのもこの経済支援があったからこそだと強く感じております。最後になりましたが、本プログラムにてお世話になった方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

■コース生（第7期生）活動報告



グリーンアジア国際戦略プログラム
 第7期生
重信 咲季

グリーンアジア7期生、総合理工学部物質理工学専攻修士1年の重信咲季です。学部までは島根大学総合理工学部にも所属していました。学部時代から触媒化学に関する研究を行っており、学部時代は石油精製のための水素化脱硫触媒に関する研究を、現在は自動車の排ガス浄化触媒の研究を行っています。



コースに配属されてまだ半年ですが、様々な活動をしてきました。特に、エネルギー評価学や経済学など自分の専門とは大きく異なる授業を受講することで、新たな知見を得ることが出来たと思います。今後もグリーンアジアでの活動を通して広い視野で物事を考えることが出来るよう努めていきます。また、実践産業演習では留学生と一緒に工場見学や体験学習を行いました。自分の英語力やコミュニケーション能力がまだまだであると痛感させられましたが、今後のグリーンアジアでの活動を通して、専門的な知識だけでなくこれらの能力も身に付けていきたいと思っています。コース終了後の具体的な進路については未だ検討中ですが、何事にも臆することなく国内外問わず活躍できる研究者になりたいと考えています。



グリーンアジア国際戦略プログラム
 第7期生
呂 嘉俊

My name is Lyu Jiajun, an international student from China conducting study here in Kyushu University as a master student.



As for education experience, I majored in Building Environment & Energy Application Engineering and obtained Bachelor degree in Hunan University, an outstanding institution in China. Afterwards, I started my master course here in Tanimoto & Hagishima Laboratory and then joined Green-Asia Program in October 2018.